

図 26.11 *Mycobacterium fortuitum* 感染症
a: 20 歳代女性. 腹部に広範囲な皮下硬結を認め, 切開により大量に排膿した. b: チール・ネルゼン染色. *Mycobacterium fortuitum* が赤く染まっている (矢印).

5. ブルーリ潰瘍 Buruli ulcer

Mycobacterium ulcerans および *M. ulcerans* subsp. *shinsuense* 感染症. 丘疹や皮下結節で初発し, 急速に大きな潰瘍を形成する. 近年日本でも報告が増えている.

C. らい菌によるもの *Mycobacterium leprae* infection

ハンセン病 leprosy, Hansen's disease ★

Essence

- らい菌による感染症で, 主に皮膚と末梢神経を侵す. 感覚低下を伴う局面が特徴的.
- 病変部の菌量により, PB 型 (少菌型) と MB 型 (多菌型) に分類される. MB 型はらい菌に対する細胞性免疫が弱い重症型であり, 菌が増殖して全身に結節などを形成する.
- 治療は DDS を含む多剤併用療法.

病因

らい菌 *Mycobacterium leprae* による抗酸菌感染症である. 親子間などの濃厚接触を契機に, 微小外傷や気道粘膜を介して乳幼児期に感染が成立すると考えられている.

症状・分類

皮膚病変の数と病変部の菌量によって, PB 型 (paucibacillary, 少菌型) と MB 型 (multibacillary, 多菌型) に分類される (表

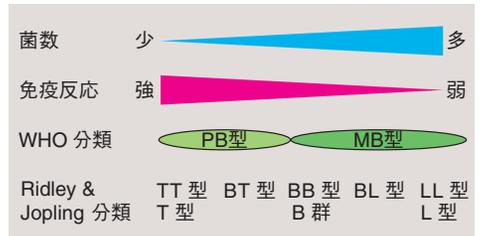


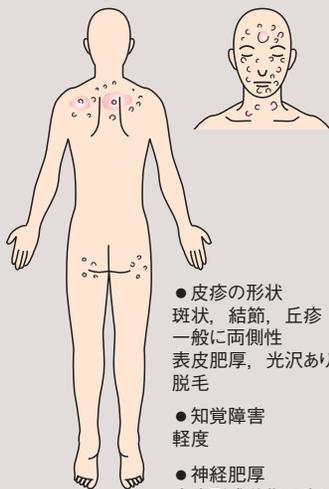
図 26.12 ハンセン病の分類と菌数, らい菌に対する細胞性免疫との関係

ハンセン病の疫学

MEMO 

- 皮疹の形状
隆起性紅斑（比較的大型）
表皮は乾燥
脱毛
- 知覚障害
常にあり
- 神経肥厚
限局して不規則にあり

PB型【少菌型】



- 皮疹の形状
斑状、結節、丘疹
一般に両側性
表皮肥厚、光沢あり
脱毛
- 知覚障害
軽度
- 神経肥厚
皮疹形成後期で生じる
全身性

MB型【多菌型】

26.3, 図 26.12, 26.13). PB型は皮疹が5個以下かつスミア検査(次頁MEMO参照)陰性のもの, MB型は皮膚病変数が6個以上ないし病変部からのスミア検査陽性のものと定義される。これは, らい菌に対する宿主の抵抗力(細胞性免疫)の強弱によって主に規定され, MB型ではらい菌が生体から排除されず, 全身で菌が増殖して病変が多発する。また, 宿主の細胞性免疫によって本症の臨床症状はかなり異なり, これに準じた病型分類も用いられる(Ridley & Jopling分類, 図 26.12)。

皮膚病変としては, 感覚低下や発汗障害を伴う環状紅斑, 白斑, 局面などを形成することが特徴的である(図 26.14)。運動神経障害(顔面神経麻痺による兔眼など), 神経因性疼痛や末梢神経の肥厚などもみられる。また, 治療や精神的ストレスなどを契機として炎症反応が強くなり, 臨床症状が急に増悪する場合がある。これをらい反応(leprosy reaction)と呼ぶ。このとき, 発熱や関節痛などを伴って全身に結節性紅斑(18章 p.354参照)が多発する場合があり, らい性結節性紅斑(erythema nodosum leprosum; ENL)と呼ぶ。

病理所見

病型によらず, Langhans型巨細胞および組織球を主体とした肉芽腫を形成する。神経線維の周囲に形成されることが本症に特徴的である。PB型では細胞性免疫を反映して, 類上皮肉

表 26.3 ハンセン病の病型分類

--

図 26.13 ハンセン病の症状比較

芽腫の周囲に多数のリンパ球浸潤を認める。MB型では炎症細胞に乏しく、^{ほうまつ}泡沬状の組織球を主体とする肉芽腫が形成され、内部ではらい菌が増殖している。

検査所見・診断

知覚障害を伴う白斑などの皮疹、末梢神経（とくに大耳介神経や尺骨神経）の肥厚や神経障害、病理組織学的所見から本症を疑う。診断および病型分類には皮膚スミア検査、組織PCR法、抗PGL-1抗体が有用である。以前は皮内検査としてレプロミン反応（^{みつだ}光田反応）が行われていたが、現在は抗原液が入手不可能であり施行できない。

鑑別診断

皮膚結核、梅毒、皮膚真菌症、末梢神経障害を伴う疾患（糖尿病、^{そくにく}脊髄空洞症など）、乾癬、菌状^{そくにく}息肉症など。他の抗酸菌感染症を除外するために抗酸菌培養が必要である。

治療

WHOの病型に応じて、リファンピシンやジアフェニルスルホン（DDS）、クロファジミンによる多剤併用療法が推奨されている。らい反応による疼痛が強い場合は、NSAIDsや一時的なステロイド内服薬、サリドマイドが用いられる。

皮膚スミア検査と菌指数

MEMO 

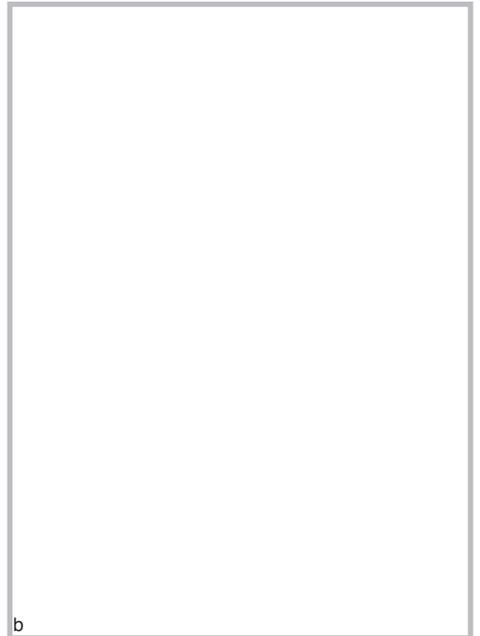
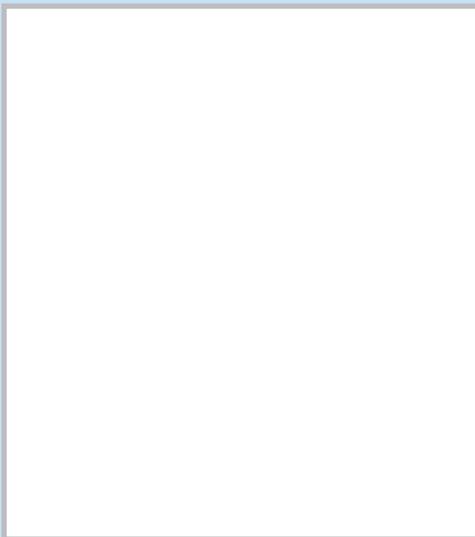


図 26.14 ハンセン病 (leprosy, Hansen's disease)
a: PB型 (TT型) の症例。右大腿の環状紅斑。b: 右上腕の扁平隆起した紫紅色局面。MB型 (BT型) に含まれる。